

算数

(1) ぜんぶで いくらに なりますか。



(1)

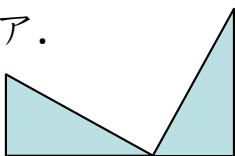
えん

(2) あるかず は 7 と 2 に わけられます。あるかずは いくつですか。

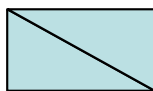
(2)

(3) みぎの さんかくけい 2まいで つくれない かたちを ア～エから えらびなさい。  
(さんかくけいを うらがえしては いけません)

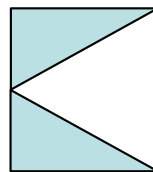
ア.



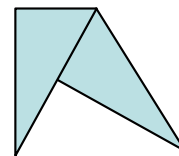
イ.



ウ.



エ.



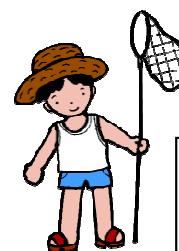
(3)

国語

(1) えの おとこのこを あらわす ことばとして ただしいのは どちらですか。

ア. ぼくは しょうがっこう いちねんせいです。

イ. ぼくわ しょうがっこう いちねんせいです。



(1)

(2) つぎの えに かかれている ものは ア・イのどちらですか。

ア. おおさま イ. おうさま



(2)

(3) ( ) に はいる ことばとして ただしいものを (ア)～(エ) から えらびなさい。

「きのう ロジオくんは カレー ( ) からすぎると おかあさんに つたえた。」

ア. と イ. を ウ. に エ. が

(3)

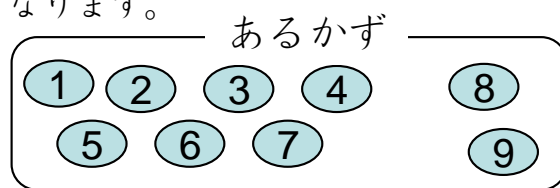


算数

(1) II (2) 9 (3) ウ

(1) 1えんだま と 5えんだまに わけてかんがえると かぞえまちがいが へります。  
 1えんだま・・・6まい だから 6えん  
 5えんだま・・・1まい だから 5えん  
 あわせて 11えん となります。

(2) あるかずは 7と 2を あわせたかずになります。  
 えに かけて かぞえてみましょう。



(3) ウの うえにのっている さんかくけいは もとの さんかくけいを うらがえさないと つくれません。

国語

(1) ア (2) イ (3) エ

(1) 「は」「わ」は まちがえやすいので きを つけましょう。

○: ぼくは しょうがくせいです。

×: ぼくわ しょうがくせいです。

(2) 「おうさま」は かんじでかくと 「王様」と かきます。「王」は、ひとびとのなかで いちばん えらいひとを あらわすことばです。「王」は 「おう」と かきます。

(3) 「たいよう が しずんだ。」「ぼく は 1ねんせいだ。」のように、ものや人が どんな ようすかを いいたいときは 「が」や「は」を つかいます。

( 「が」「は」の ほかにも ありますが、まずは 「が」「は」を まちがえずにつかきましょう )

